



小学生[中学年]向け



『家をせおって歩く』

村上慧／作
福音館書店 ¥1,400(税別)

白い小さな家を人間が背負って歩いている!?これはアーティストの村上慧さんが作った持ち運び可能な発泡スチロールの家。日本各地や外国で「移住」を楽しみながら見たこと聞いたこと、どんな人と出会い何が起こったかを綴った一冊。



『こども「折々のうた」100』

大岡信／著 長谷川耀／監修
小学館 ¥1,500(税別)

日本に伝わる短歌、俳句それぞれ50編を、詩人大岡信による解説とともに紹介。古代から日本人が大切にしていた言葉の美しさを再確認できる一冊。悩み、苦しい時にそっと支えてくれるような、人生の指針となる詩歌にきっと出会えるはず。



『しあわせなハリネズミ』

藤野恵美／作 小沢さかえ／絵
講談社 ¥1,350(税別)

思ったことをそのまま口にしてしまうハリネズミには、友達がない。ある日森に引越してきたモグラと出会い、泥だんごと自分が作った刺繍を交換することになった。友情によるハリネズミの心の変化と成長を優しく描いた物語。



『チギータ!』

蒔田浩平／作 佐藤真紀子／絵
ポプラ社 ¥1,300(税別)

小学校5年生の千木田寛仁と親友マッサーはクラスで行うレクリエーションの時間に、卓球をやりたいと思った。しかし多数決でいつも負け。どうにか知恵を絞るが、果たして…。『小さい声』も応援したい気持ちになる、勇気をもらえる話。



『とんでいったふうせんは』

ジェシー・オリベロス／文 ダナ・ウルエコッテ／絵 落合恵子／訳
絵本塾出版 ¥1,500(税別)

おじいちゃんは長く生きている分、思い出という風船をたくさん持っているが、最近次々飛ばしてしまふ。悲しそうでいっぱいになった僕にパパとママはあることを教えてくれる。認知症を発症したおじいちゃんと僕を描いた絵本。



『ヒロシマ消えたかぞく』

指田和／著 鈴木六郎／写真
ポプラ社 ¥1,650(税別)

セピア色の写真と易しい文章で記録された鈴木六郎さん一家の日常は、1945年8月6日、唐突に断ち切られる。戦争は人々から何を奪ったのか…。作者の強い願いで出版された絵本。一家に訪れなかった「明日」を生きる私たちが読むべき一冊。



『ポリぶくろ、1まい、すてた』

ミランダ・ポール／文 エリザベス・ズーノ／絵 藤田千枝／訳
さ・えら書房 ¥1,500(税別)

捨てられたポリ袋は1枚、2枚、10枚、やがて100枚に。そしてついに私達の生活を脅かす存在になる。プラスチックのゴミ問題について考えることができる実話絵本。カラフルな紙でカラーージュされたアフリカの生活を伝える絵が美しい。



『本気でやれば、なんでもできる!?』

ジョン・ヨーマン／作 クエンティン・ブレイク／絵 三原泉／訳
徳間書店 ¥1,400(税別)

集中するのが苦手なビリーは、先生から頑張れば何でもできると言われ、頭に角を生やそうとする。すると次の日、本当に2本の角が!どンドン大きく成長する角に周囲もビリーも困惑するが…。ユーモアあふれる楽しいお話。

その他のおすすめの本



『エベレスト』

サンダ・フランシス／文 リスク・フェン／絵 千葉茂樹／訳 徳間書店 ¥2,800(税別)

『かみさまのおはなし』

藤田ミツ／原作 渡邊みどり／復刻提案 高木香織／構成 講談社 ¥1,800(税別)

『火山はめざめる』

はぎわらふぶ／作 早川由紀夫／監修 福音館書店 ¥1,500(税別)

『数字はわたしのことば』

シェリル・バード／文 パーバラ・マクリントック／絵 福本友美子／訳 ほるぷ出版 ¥1,600(税別)

『だいすきな先生へ』

デボラ・ホプキンソン／文 ナンシー・カーペンター／絵 松川真弓／やく 評論社 ¥1,400(税別)

『図書館のふしぎな時間』

福本友美子／作 たしるちさと／画 玉川大学出版部 ¥1,600(税別)

『友だちをやめた二人』

今井福子／作 いつか／絵 文研出版 ¥1,400(税別)

『走れ!メープル』

菅聖子／文 山本遼／写真 篠本映／絵 小峰書店 ¥1,500(税別)

『へいわとせんそう』

たにかわしゅんたろう／ぶん Noritake／え ブロンズ新社 ¥1,200(税別)

『ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集』

斉藤倫／著 高野文子／画 福音館書店 ¥1,200(税別)

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』

中山由美／文・写真 秋草愛／絵 学研プラス ¥1,400(税別)

『みんなとちがうきみだけど』

ジャクリン・ウッドソン／作 ラファエル・ロベス／絵 都甲幸治／訳 汐文社 ¥1,600(税別)